

人文学部プロジェクト活動

人文学部は、以下のプロジェクトに戦略的経費（研究プロジェクト助成）を配分しています（右は代表者名）。

刊行物助成

英語と英米文学

太田聡

独仏文学

ヒンターエーダー＝エムデ・フランツ

山口地域社会研究

速水聖子

山口大学哲学研究

柏木寧子

『英語と英米文学』

（太田 聡）

『英語と英米文学』は、山口大学人文学部・教育学部・経済学部・国際総合科学部に所属する教員グループが、年1回刊行している学術研究誌である。メンバーは現在12名で、このうち人文学部教員は欧米言語文学コース所属の5名（岩部浩三、太田聡、上田由紀子、池園宏、外山健二）である。掲載内容は各メンバーの日頃の研究成果を反映した論文等で、その領域は英語学・英米文学・英語教育・英語圏文化など多岐に及んでいる。1965年に創刊された本誌は半世紀以上に及ぶ歴史があり、今年度で第54号の刊行を迎えた。最新号の掲載内容は以下の通りである。

A History of Shadow Education in Japan and South Korea

（Ariel K. SORENSEN : 国際総合科学部）

なお、人文学部から配分された戦略的経費（研究プロジェクト助成）は、今年度の刊行・発送に要する費用の一部として有効に活用されている。また、本誌の電子版は山口大学学術機関リポジトリYUNOCAにより学内外に広く公表されている。これらの支援を受け、『英語と英米文学』は今後も継続的に各研究者の活動成果の公表に寄与していく予定である。

『独仏文学』 第41号

『独仏文学』は、ドイツおよびフランス語文化圏の文学や言語学に関する研究をはじめ、文化全般、歴史、社会、美術など広い範囲の研究論文を掲載する学術雑誌である。

初習外国語の廃止に伴う教員の削減により、執筆者を募ることが年々難しくなっている。昨年度の山口大学独仏文学研究会総会の決定に基づき、今年度は当雑誌の継続のため、一層原稿募集に力を入れ、そして投稿の質を確保するため暫定的にピアレビューの試みを行うことにした。各原稿は論文の書かれた言語に配慮しつつ学外の研究者に査読を依頼した。各査読者から快く承諾をいただいて、順調に新号の完成に向かっている。

今年度の掲載内容は次の通りである。

1. 下崙正利「ゲルマン語強変化動詞第1種の歴史的変遷（1）」
2. Franz HINTEREDER-EMDE: Antagonistische Dynamik der Identitätsproblematik in Natsume Sōsekis Der Bergmann: Individuum,

3. 武本 雅嗣「所要時間を表示する前置詞に関する共通性と多様性」
4. Michel DE BOISSIEU : La musique de Wagner dans Les Deux étendards de Lucien Rebatet : Le drame au service de l'ironie
(ヒンターエーダー=エムデ・フランツ)

山口地域社会研究

「山口地域社会研究」プロジェクトは山口地域社会学会の研究活動を中心としており、現在は年に2回の研究例会の開催、ならびに年1回の学会誌『やまぐち地域社会研究』の発行を行っている。研究例会は、会員によるそれぞれの研究発表を毎回2～3本ずつ報告する形で行われ、活発な意見交換がなされている。人文学部の現教員は横田尚俊・速水聖子（現代社会学）、高橋征仁・桑畑洋一郎（社会心理学）、谷部真吾・小林宏至・山口睦（民俗学・文化人類学）の計7名で、社会学コースの教員全員を会員としている。

2019年は、第47回例会7月6日（土）・第48回例会11月2日（土）の計2回の研究例会を開催した。11月の研究例会では台湾在住の会員による報告も行われ、東アジア研究科の大学院生（留学生）の報告も含めて、学会の国際化が進んでいるといえよう。山口地域社会学会自体はローカルで小規模な学会ではあるが、情報発信の機会として活動の門戸はグローバルに開かれたものとなることを期待したい。

2回の研究例会では東アジア研究科の大学院生も含め多くの一般研究報告も行われた。今年度の研究例会の成果を踏まえて、年度末に学術雑誌『やまぐち地域社会研究』（第17号）を刊行する予定であり、現在、編集作業を進めているところである。（速水聖子）

『山口大学哲学研究』

『山口大学哲学研究』は、山口大学哲学研究会が毎年刊行する会誌である。

山口大学哲学研究会は、山口大学に所属する哲学・思想系の教員を中心とする組織で、会誌の刊行のほか、合評会、研究発表会などの活動を行っている。現在、正会員（学内の常勤職員である会員）は11名で、そのうち人文学部の教員は、ジュマリ・アラム、柏木寧子、栗原剛、藤川哲、村上龍、横田蔵人、脇條靖弘の7名である。他学部の正会員は、佐野之人（教育学部）、山本勝也（経済学部）、小川仁志（国際総合科学部）、小山虎（時間学研究所）の4名である。また、名誉会員（過去に山口大学に所属したことのある学外の会員）は22名で、そのうち人文学部の元教員は、上野修、遠藤徹、奥津聖、加藤和哉、木村武史、周藤多紀、武宮諦、田中均、外山紀久子、林文孝、古荘真敬、頼住光子の12名である。2019年度は、柏木寧子（人文学部）と村上龍（人文学部）が運営委員を担当した。

本年度は、例年通り会誌『山口大学哲学研究』の刊行を続けた。2019年3月刊行の第26巻は、年度をまたいで会員諸氏・諸機関宛てに送付した。掲載論文等は、「かくも大きく立派な地位を感性にさずける心理学」（1）——晩期ベルクソン哲学における「感性」概念——」（村上龍）、「公共性から公共性主義へ」（小川仁志）、「シモーヌ・ヴェイユにおける定義——《besoins de l'âme》をめぐって——」（末松壽）、「〈書評〉西垣通著『AI原論 神の支配と人間の自由』講談社、2018年」（山本勝也）、の四本である。刊行に際し、人文学部より支給された「刊行物助成経費」を、印刷・製本費用の一部にあてさせていただいた。また、第27巻は2020年3月刊行の見込みであり、栗原剛、佐野之人、藤川哲、ジュマリ・アラム、脇條靖弘、横田蔵人、村上龍（掲載予定順）の各氏による研究論文等の掲載が予定されている。

（柏木寧子）

山口大学人文学部異文化交流施設事業

交流部門事業

公開講演会

年度	開催日	講演者	国	所属機関	演題
令和元年	2019. 11. 27	高木史人	日本	関西福祉科学大学 教育学部教授	昔を「話す」か、「語る」か。—「聴く」 姿勢を育てる幼小接続教育の試み—

研究部門事業

研究プロジェクト

年度	プロジェクト	代表者
令和元	連歌懐紙の書誌学的文献学的研究	尾崎 千佳
	日本社会におけるアオ色をめぐる予備的研究	小林 宏至
	島根県荒神谷遺跡出土銅矛の研ぎ分け研磨痕の再実測調査	村田 裕一
	あいちトリエンナーレと瀬戸内国際芸術祭におけるアート・ツーリズムの比較検討	藤川 哲
	漢帝国における封国制に関する最新発掘資料の調査	馬 彪
	キャラクターの二次創作活動に見る「擬人化」と「記号化」の相克性に関する研究	アラム ジュマリ

山口大学人文学部 異文化交流・研究活動

交流部門交流事業

1. 海外渡航 (H31.1 ~ R1.12)

年	渡航者氏名	訪問先	期間	目的	費用の出所
令和元	田中 晋作	韓国	H31.3.1 ~ 3.7	科研費による韓国三国時代の資料及び遺跡の調査のため	科学研究費補助金
	田中 晋作	韓国	H31.3.21 ~ 3.26	科研費による忠北大学校での講演及び韓国三国時代の資料及び遺跡の調査のため	科学研究費補助金
	滝野 正二郎	台湾	H31.3.11 ~ 3.15	海外調査研修に参加する学生の引率等のため	教育経費
	乾 秀行	エチオピア	H31.3.21 ~ 4.9	エチオピア少数言語の記述調査のため	科学研究費補助金
	馬 彪	中国	H31.4.26 ~ R1.5.8	安徽省における漢・新莽帝国の文物調査	科学研究費補助金
	藤川 哲	イタリア	R1.5.8 ~ 5.17	ヴェネツィア・ビエンナーレ国際美術展 展覧会調査, 資料収集	科学研究費補助金
	太田 聡	アメリカ	R1.6.23 ~ 7.21	LSA2019 Linguistic Instituteに参加のため	科学研究費補助金
	Hintereder Emde Franz	中国、ドイツ、スイス	R1.7.28 ~ 8.31	国際比較文学学会 (ICLA2019) 出席, 研究発表他のため	科学研究費補助金
	小林 宏至	中国	R1.8.11 ~ 8.19	民間信仰および生業に関する調査のため	法人運営費
	速水 聖子	ベトナム	R1.8.22 ~ 8.26	ベトナム日本人コミュニティについての調査のため	科学研究費補助金
	山口 睦	中国 (台湾)	R1.8.25 ~ 8.31	地震, 台風被害後の地域調査のため	科学研究費補助金
	馬 彪	中国	R1.8.26 ~ 9.8	王莽研究の文物・遺跡調査のため	科学研究費補助金
	更科 慎一	中国	R1.8.29 ~ 9.1	「北京話国際検討会」への参加のため	私費
	竹中 幸史	フランス	R1.9.6 ~ 9.22	史料調査のため	科学研究費補助金
	乾 秀行	エチオピア	R1.9.13 ~ 10.5	エチオピア少数言語の記述調査のため	科学研究費補助金
	滝野 正二郎	中国 (台湾)	R1.9.24 ~ 9.28	台北市内史跡見学他引率のため	法人運営費
	小林 宏至	中国	R1.9.12 ~ 9.15	学術会議出席ならびに北京市内巡検 (琉璃廠) のため	私費
	森野 正弘	中国	R1.10.16 ~ 10.29	日本古典文学史の展開に関するワークショップへの参加他のため	私費
	小林 宏至	中国 (台湾)	R1.10.4 ~ 10.7	客家研究に関する日台シンポジウムに出席のため	私費
	馬 彪	中国	R1.11.23 ~ 12.3	漢帝国における封国制に関する最新発掘資料の調査のため	法人運営費
	小林 宏至	中国	R1.12.6 ~ 12.8	東アジア文化交流一芸と術をめぐる国際学術会議出席のため	私費
	馬 彪	中国	R1.12.27 ~ R2.1.8	王莽研究の文物・遺跡調査のため	科学研究費補助金

2. 科学研究費補助交付

交付年度	研究種目	課題番号	代表者	研究課題名
令和元	基盤研究(C)	16K02680	富平 美波	『続通志』「七音略」とその門法の研究
	基盤研究(C)	16K03223	谷部 真吾	祭礼の脱「暴力」化に関する民俗学的研究
	若手研究(B)	16K16905	石田 俊	近世公武婚の総合的研究
	基盤研究(C)	17K02257	栗原 剛	『葉隠』の武士道をめぐる倫理思想史学的研究—未刊写本の翻刻と訳注作成を通して
	基盤研究(C)	17K03209	村田 裕一	道具組成からみた弥生時代山陰地域における地域性成立と交流・鉄器化進行過程の研究
	若手研究(B)	17K13561	南雲 泰輔	後期ローマ帝国時代における世界認識の構造にかんする研究
	基盤研究(C)	17K03271	山口 睦	活性化する贈与経済についての人類学的研究
	基盤研究(C)	17K04184	桑畑 洋一郎	HTLV-1関連疾患当事者の当事者運動に関する研究
	基盤研究(C)	18K00188	藤川 哲	日本と韓国における国際美術展のグランド・ツアー・インパクトをめぐる基礎的研究
	基盤研究(C)	18K00479	エムデ・フランツ	ジャンルの混交と共感覚—20世紀モデルネの文学・絵画の新たな受容
	基盤研究(C)	18K00576	上田 由紀子	日本手話における空頂に関する統語研究
	基盤研究(C)	18K01035	竹中 幸史	フランス国旗・国歌の歴史学—基礎的研究
	基盤研究(C)	18K01963	高橋 征仁	被災者はなぜ罪悪感を抱くのか?—避難の困難さと社会的承認に関する実証的研究
	基盤研究(C)	18K02029	横田 尚俊	災害復興期における広域避難者・支援者間のネットワーク再編に関する研究
	国際共同研究強化(B)	18KK0009	乾 秀行	エチオピア諸語の記述とドキュメンテーション: ソーシャル・イノベーションにむけて
	基盤研究(C)	19K00372	根ヶ山 徹	徳山毛利家棲息堂文庫所蔵和刻本漢籍の書誌学的研究と分類目録の作成
	基盤研究(C)	19K00663	太田 聡	日英語対照による周辺の語形成過程の音韻的分析
	基盤研究(C)	19K00977	池田 勇太	幕末維新政治史と儒教—熊本実学党の研究—
	若手研究	19K13202	安本 真弓	日本語形容詞の構文と意味に関する史的研究
	若手研究	19K14064	伊東 達也	読書施設における「日本的底流」の存在に着目した近世教育と近代教育の連続性の研究
	基盤研究(B)分担	19H01295	池田 勇太	「感情体制」と生きられた感情—エゴドキュメントに見る「近代性」
	基盤研究(B)分担	19H01395	山口 睦	「模する」技術の発展と伝統的習俗の変容についての学際的研究
	基盤研究(B)分担	19H01562	速水 聖子	過疎地域と地方都市間の関係分析による人口減少社会モデルの生活構造論的構築
	基盤研究(C)分担	19K02873	桑畑 洋一郎	大学院博士課程修了者のキャリア形成に関する調査研究
	基盤研究(A)分担	17H00834	田中 晋作	高精度同位体比分析装置を用いた古代日本における青銅器原料の産地と採鉱状況の研究
	基盤研究(C)分担	17K02189	柏木 寧子	神仏共存神話の原理に関する倫理学的研究—日本思想の基軸の解明—
	基盤研究(C)分担	17K02189	栗原 剛	神仏共存神話の原理に関する倫理学的研究—日本思想の基軸の解明—
	基盤研究(C)分担	17K02691	上田 由紀子	日本手話における文末指さしの指示対象に関する統語研究
	基盤研究(C)分担	16K02429	野坂 昭雄	旧日本映画社撮影長崎原爆映像の超高度精密化と関連資料等による歴史的記録性の確立
	基盤研究(C)分担	18K00157	森野 正弘	楽書『教訓抄』全注釈のための基盤形成
	基盤研究(B)分担	17H04561	速水 聖子	海外日本人社会における情報環境の変容とコミュニティの動態に関する比較社会学的研究
	基盤研究(B)分担	16H03427	太田 聡	隣接諸科学乗り入れ型の手法による音韻理論の外的・内的検証の研究
	(東アジア所属分) 基盤研究(C)	17K03133	馬 彪	王莽の「新」帝国を創建する標準化改革についての出土文物・文字による研究